

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会選

佳作 佐坂 恵子

青空に万の蕾を捧げ持つ白木蓮の古いし木の幹

佳作 林 ヤス子

ゆらゆらと水面はゆれて花色に青きがまじる蜂須賀ざくら

佳作 井坂 絹子

我れ先とブランド手にする人々のしあわせさがし質屋にあるらし

佳作 勢井 恒子

畑鋤くを見守りくれてかお母さん雲間に淡き昼の弦月

佳作 井上 正恵

裸木の柿にまとはり飛ぶ虫ら春のひかりはすべてを祝ふ

佳作 兼任ゆき子

青空は広きキャンバス引き伸ばす真綿の如き雲の描かる

佳作 森岡 圭子

手を拵げ見得を切りたき花吹雪ふつうの春の大事なふつう

俳句

阿南市俳句連合会選

鳥海 勇二

鎮魂のかがり火消えて夏終る

一山にトンネル二つ葡萄棚

水口 精二

峡の家箆を並べて豇豆干す

神野千鶴子

喜寿の顔ずらり揃えり夏料理

佐々木八千代

盆の雨踊り子蹴出し濡らしけり

水口 明美

鉄砲百合向き定まらず活けにけり

金本ひろみ

昼寝覚テレビのついてをりにけり

末岐 美子

新米や母の口癖水加減

五光 春海

百年の樹海の闇よ涼しさよ

岡本 隆子

ドイツ語の園児の第九秋日和

岡久 玲子

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

ここだけの話右から左から

野口 吾朗

まだ見えぬ明日へ夢をふくらます

野村 敏子

手の中に入れた幸せ抱いている

二階千代美

サポーター心のゴミも拾ったね

持木 寿栄

人の金吸いとるような広告だ

田上 鶴子

湯けむりに浮かぶ女性はみんな美女

滝川 太郎

一般応募

病んで知る陽を浴び歩くありがたさ

島尾美津子

香り立つ花嫁うふふ半世紀

仁井 信子

メンテナンス高くつきます後期です

武田 敏子

球児らの日焼けの顔に歯が光る

吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

LED始祖小川信雄大人の偉業を讃う

吉形 和恵

發光雙極合元祖

發光 双極 合に元祖たるべし

學士三雄資顯譽

學士 三雄 顯譽に資す

雪案夜夜開宇宙

雪案 夜々 宇宙を開き

景星炳炳照寒闇

景星 炳々 寒闇を照らす

榎龍閣詩集を読む

松原 伸夫

詩浸深識雅懷清

詩は深識を浸ませて 雅懷清し

平島公方文化聲

平島 公方 文化の聲

那水津峯親昵日

那水 津峯 親昵の日

京師千里若為情

京師 千里 若為の情ぞ

※榎龍閣詩集：平島公方9代義根の詩集

朱夏鳴門觀潮

井関喜久子

長橋萬尺度蒼穹

長橋 萬尺 蒼穹を渡る

溽暑觀潮渦卷中

溽暑の觀潮 渦卷の中

豈屈龍神三伏熱

豈に龍神に屈かんや 三伏の熱

船舷碧水躍涼風

船舷の碧水 涼風に躍る